



幼・保・小・中・高・大 一貫した「ふるさと ふかや・渋沢学」の推進 (案)

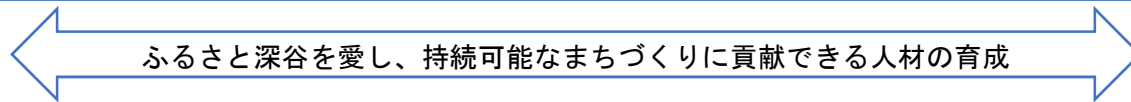
～深谷の大人への学び～

令和元年 9月



目的

人口減少とグローバル化の進行する時代にあって、郷土の偉人・渋沢栄一翁の「立志と忠恕」の精神を育み、持続可能な深谷のまちづくりに貢献できる人材を育成するため、市内の幼・保・小・中・高・大の各園・学校が体系化されたカリキュラムのもと、地域の関係団体、機関等と連携し、豊富な教育資源を活用して発達段階に応じた「ふるさと ふかや・渋沢学」を推進する。



- 深谷商業高校
- 深谷高校
- 深谷第一高校
- 正智深谷高校
- 成徳深谷高校

- 埼玉工業大学
- 東都大学



「ふるさと ふかや・渋沢学」推進会議 (仮称)

幼稚園 1名、保育園 1名、小学校 2名、中学校 2名、市内高等学校 5名
市内大学 2名、深谷市・深谷市教育委員会、学校運営協議会 会長会
PTA 連合会、自治会連合会、公民館、商工会議所、商工会、青年会議所 等



第1回推進会議 11月19日 (準備会 10月15日)

主な取組案

- 目指す児童・生徒像の設定
- ふるさと教育に係る意識調査の実施
- 意識調査の分析と課題の整理
- モデルカリキュラムの作成 等

推進会議としての取組

- 中学校区でのカリキュラム編成
- 高校・大学と連携した取組
- 地域と連携した取組
- ふるさと学習会の開催 等

各学校の取組

- 「ふかや学検定 (仮)」の作成
- 「こころざしふるさと塾」の開催
- ふかや学フォーラムの開催 (仮)
- 成果の検証 等

教育委員会等の取組

今、求められる「ふるさと教育」

地方から都市部への人口流出

深谷市の人口減少

人口減少時代
到来の中で……

- 平成18年1月(合併時) 合計 148,359人
- 令和元年6月(現在) 合計 143,529人
- 令和42年 (推定) 合計 96,000人

教育が地域のエンジン

ふるさとにふれ、ふるさとを理解し、誇りに思う「ふるさと教育」

- ・先人にふれる
- ・地域の人にふれる
- ・家族にふれる

地域の将来を担う自覚をもった
子供たちの育成

1 各教科等の中でふるさとを学ぶ。

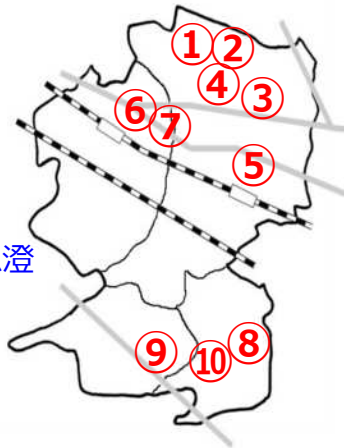


2 地域の人からふるさとを学ぶ。



3 身近な先人にふれて学ぶ。

- ① 渋沢栄一
- ② 尾高惇忠
- ③ 荻塚直次郎
- ④ 北川千代
- ⑤ 生沢クノ
- ⑥ 岡部六弥太忠澄
- ⑦ 野口源三郎
- ⑧ 藤田雄山
- ⑨ 笠原五郎吉
- ⑩ 畠山重忠



渋沢栄一記念館、畠山重忠像など

4 「こころざし読本」で誇りを育む。



5 ふるさと先生から生き方を学ぶ。



- ・平成23年度から市内全小中学校で実施
- ・道徳の時間にゲストティーチャーとして参加

夏休み、渋沢栄一翁について、さらに学びを深めよう。



【渋沢栄一記念館】



渋沢栄一誕生の地
【中の家】



【尾高惇忠生家】



【ホフマン輪窯】



【誠之堂】



【清風亭】